

第4回からだに不自由のある方への eスポーツ支援者入門セミナー ご報告

2025.12.7

一般社団法人日本eスポーツ協会

実施概要

■ 第4回からだに不自由のある方へのeスポーツ支援者セミナー

時 期：2025年12月7日（日）13:00～18:30

場 所：中日ホール&カンファレンス Boardroom

参加者：医療従事者、eスポーツ関係者、教育関係者

参加費：無料

参加者：24名

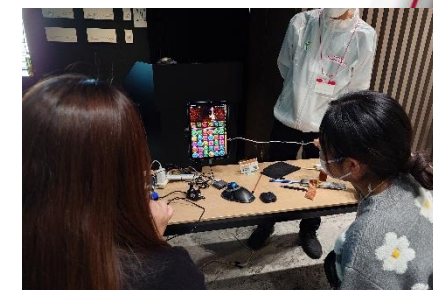
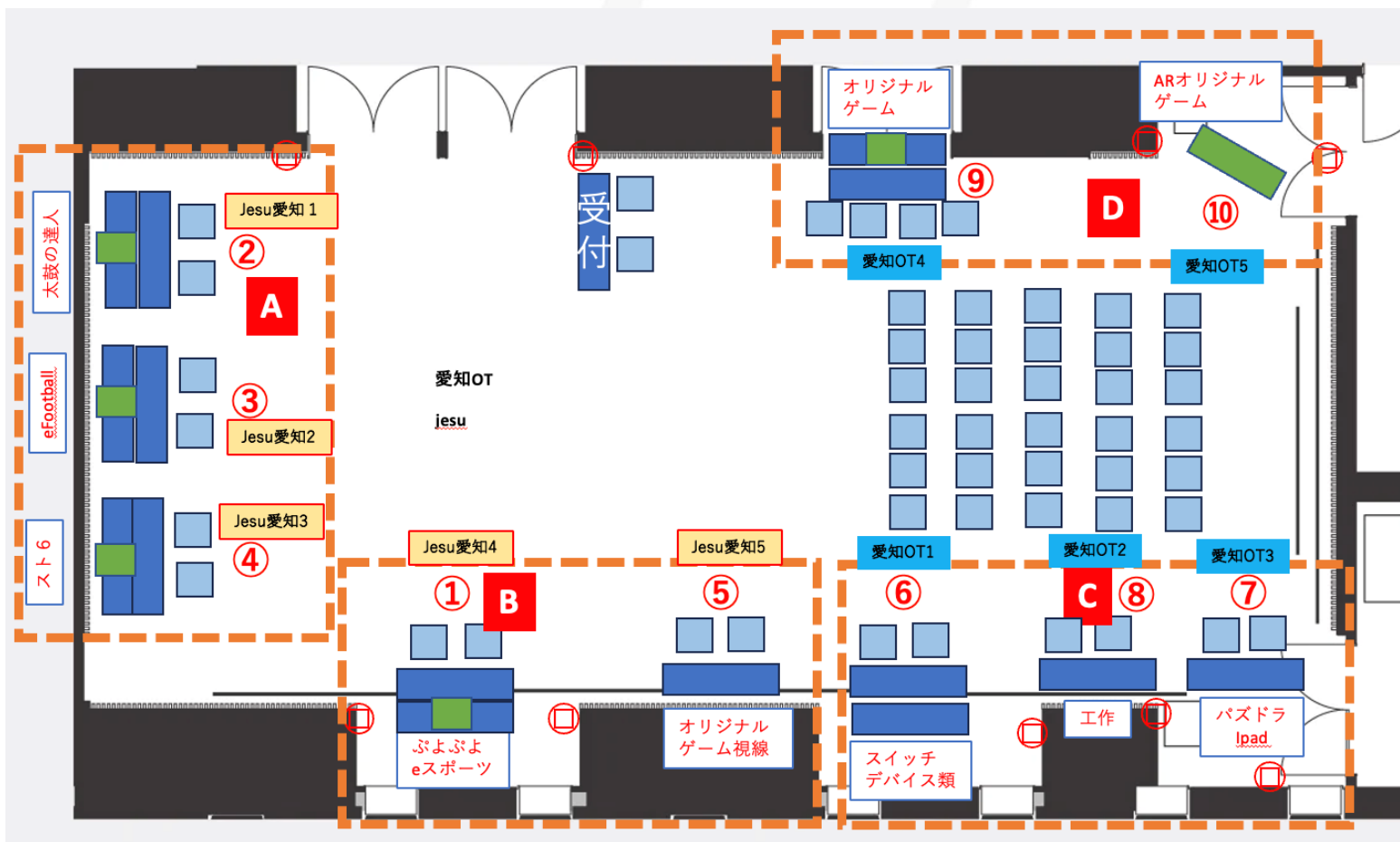
内 容：各種eスポーツの体験および障がい体験を通じた、障がい者支援方法の習得

スケジュール

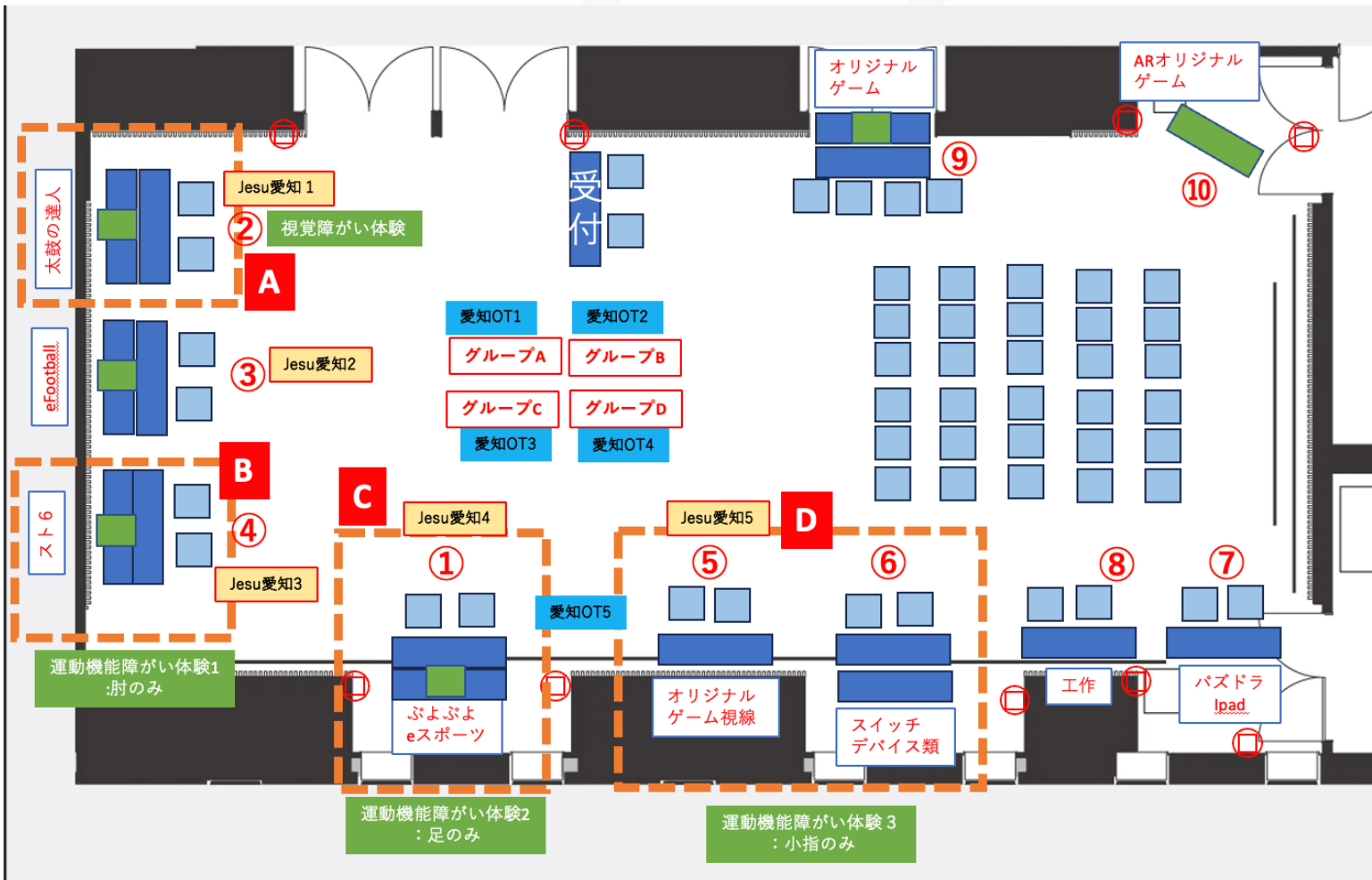
13:00-13:10	開会のご挨拶 進行説明
13:10-13:50	講義① ・ eスポーツの現状と可能性 ・ デュシャンヌ型筋ジストロフィー患者のゲーム操作環境を支援した事例紹介
13:50-15:15	ワークショップ① ・ アクセシビリティ機器体験
15:15-15:25	休憩
15:25-15:50	講義② ・ シニア向けeスポーツ活用可能性
15:50-17:25	ワークショップ② ・ 肢体不自由者へのeスポーツ支援体験
17:25-17:40	休憩
17:40-18:20	ディスカッション：体験からの学びと支援方法
18:20-18:30	閉会・アンケート



ワークショップ① 13:50~15:10



ワークショップ② 15:35~17:25



実施後所感

■所感

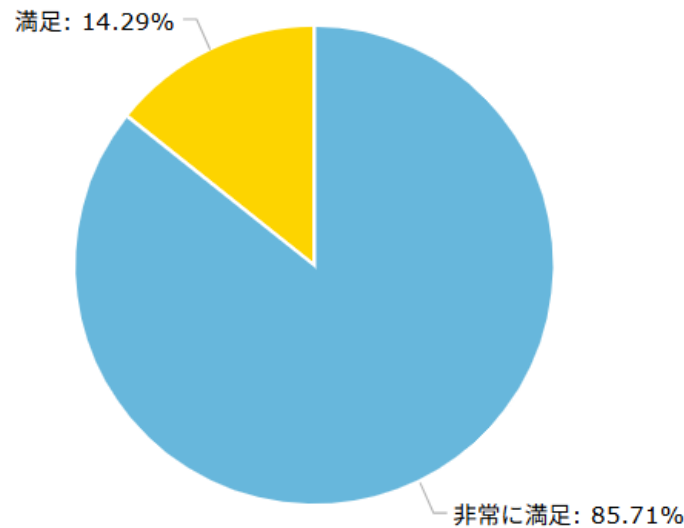
流行が続くインフルエンザにより複数の欠席者が出たものの、ほぼ想定数の参加者を集めることができた。他会場と同様に参加者のモチベーションが高く、長時間のセミナーにもかかわらず、最後まで積極的に取り組んでいただけた。

参加者は、「アクセシビリティ機器の存在」それを活用した「ゲームの楽しさ」に気づき、肢体不自由者がゲームを遊べるようにするための仕組みや機会を作ることへのモチベーションを向上させた様子であった。

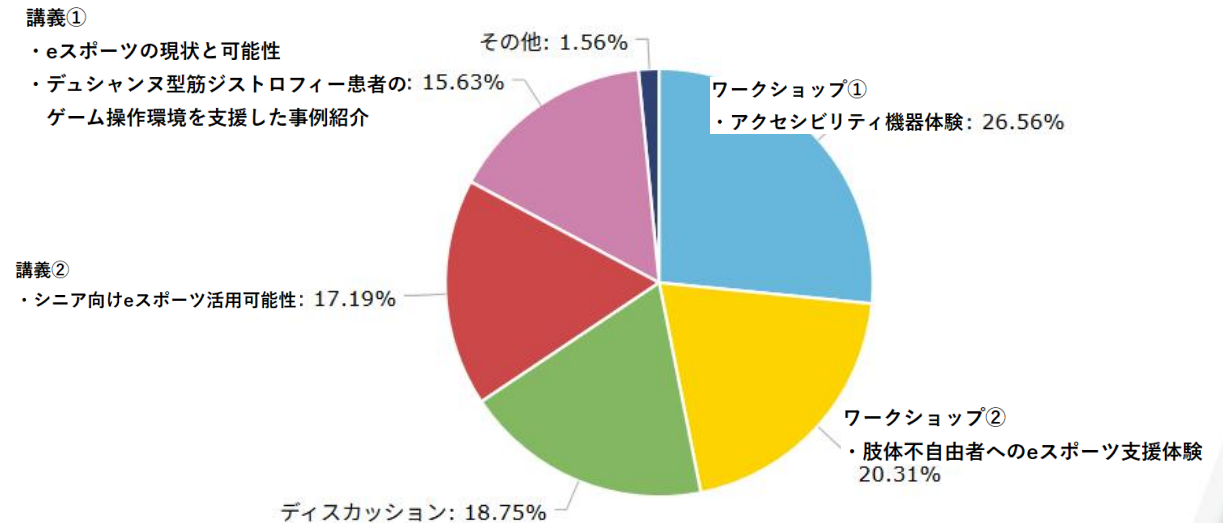
ディスカッションでは、機器の導入や場の提供など様々なハードルがある障がい者支援において、目的同じとする組織や人をつなげることの重要性が論じられた。セミナーの主催者として、2月に開催予定のフォーラムやメーリングリストなどを活用し、セミナー受講者間で必要な情報を交換・共有できる仕組みの提供を検討したい。

参加者アンケート

- 本日のセミナーの全体的な満足度をお聞かせください。



- 本日のセミナーで特に印象に残った内容を教えてください。（複数回答可）



参加者の100%が満足しており、アクセシビリティ機器体験や機器を使用した支援体験が好評であった。ディスカッション中の参加者の表情や態度からも満足度が高い様子が見えられた。